

6次 ばいとかけ算

14 倍とかけ算

<知>もとの数量の2つ分, 3つ分を2倍, 3倍ということがわかる。
<考>「~の~ばい」の考え方ができる。

れんしゅう

15・16 練習問題・単元のまとめ

<技>かけ算九九を使って正しく計算ができる。
<考>同数累加や乗法の性質を使って, 乗法九九を構成すればよいと考える。

4次 3のだんの九九

11 3の段の唱え方

<技>3の段の九九が正しく唱えられる。
<考>同数累加の考えで構成すればよいと考える。

10 3の段の構成

<技>3の段の九九を工夫して構成することができる。
<考>2の段・5の段の九九の構成の仕方を利用して考える。

5次 4のだんの九九

13 4の段の唱え方

<技>4の段の九九が正しく唱えられる。
<考>乗法の性質を使って構成すればよいと考える。

12 4の段の構成

<考>かける数が1ふえると答えはかけられる数だけ増えるというきまりが適用できると考える。
<技>4の段の九九を工夫して構成することができる。

2次 2のだんの九九

7 2の段の唱え方

<技>2の段の九九が正しく唱えられる。
<考>同数累加の考えで構成すればよいと考える。

6 2の段の構成

<考>同数累加の考えで, 九九を構成しようとする。
<技>2の段の九九を構成することができる。

3次 5のだんの九九

9 5の段の構成

<技>5の段の九九が正しく唱えられる。
<考>同数累加の考えで構成すればよいと考える。

8 5の段の構成

<考>同数累加の考えで, 九九を構成すればよいと考える。
<技>5の段の九九を工夫して構成することができる。

かけ算のしきをつくらう

5 かけ算の式

<知>乗法の式は同数のものがいくつかある時つくることができることがわかる。
<考>絵の様子から同じ数ずつのものをを見つけ, かけ算の式にしようとする。

1次 かけ算

1 同じ数ずつ

<関>ものの数を基準量の幾つ分ととらえて数えようとする。
<考>「~ずつ, ~つ分で~つ。」という考え方ができる。

2 幾つ分

<考>「~ずつ, ~つ分で~つ。」という考え方ができる。
<技>「~人ずつ~だいで~人」とかいたり話したりすることができる。

3 かけ算の定義

<技>かけ算の式の意味を知り, 式に表現することができる。
<知>かけ算の意味や用語を正しく使うことができる。

4 同数累加

<知>加法の乗法の答えを求める求め方がわかる。
<考>同数累加の考えを使って乗法の答えを求めようとする。